

水道事業経営計画（案）について

1 趣旨

水道事業が将来にわたり市民生活に必要な水を安定して供給していくためには、経営環境の変化に適切に対応し、その経営の在り方を絶えず見直していく必要があります。

そこで、この経営計画は、経営の基本的な方向性を確認するため、水道事業が目指すべき方向性を明らかにし、将来を見据えた事業経営について、多角的な視点から検討するために作成したものです。

なお、取組概要等については、千葉市新基本計画に基づく実施計画と整合を図り、調整していくこととなります。

2 期間

平成23年度から平成27年度まで（5年間）

3 現状及び課題

施設整備では、これまで主として拡張事業を推進してきましたが、今後は安定した給水を継続するために老朽化した設備を更新していくことが不可欠な状況となってきます。また、給水区域の一部では現在も井戸水に依存している地域があるため、引き続き配水管を整備していく必要があります。

経営面では、市街地から離れた不採算な区域を給水区域としており、大幅な収益増が見込めないなか、設備の更新時期を順次迎えるため、投資内容の適正化に努めるとともに、より一層の経営の効率化を推進していく必要があります。

4 経営の指針

施設整備においては、安定した給水を確保するために、設備更新を中心とした改進黨業を重点的に推進していくとともに、拡張事業も進めていきます。

経営面においては、収入の根幹である水道料金の収納率を維持していくほか、委託方法の見直しや効率的な組織体制の整備など経営の効率化に努めていきます。

5 取組概要

(1) 改進黨業の推進

老朽化した機械・電気設備の更新、および布設後40年を経過した基幹管路（送水管、配水管）の更新に伴い耐震化し、水道水の安定給水を確実なものとするため実施します。

事業内容	H23	H24	H25	H26	H27
設備の更新 ・平川浄水場中央監視 制御設備更新工事 ・平川浄水場機械・電気 設備更新工事	実施設計委託 →	設備更新工事	設備更新工事	設備更新工事 →	
				実施設計委託 →	設備更新工事 →
送・配水管の更新 ・西澤橋水管橋補修 ・送水管布設工事	φ700 L=107m →	実施設計委託 →	φ300 L=1,200m	φ300 L=2,000m →	

(2) 第3次拡張事業の推進

住民の生活環境の改善および福祉の向上を図るため、配水管を整備し未給水区域を解消するため、実施します。

事業内容	H23	H24	H25	H26	H27
大広町（21戸）L=4,330m	L=1,440m	L=1,900m	L=990m →		
野呂町（白井小学校）L=1,300m		L=1,300m →			
土気町（うぐいす台22戸）L=500m		L=500m →			
御殿町（63戸）L=8,400m				L=2,000m	L=2,000m →

(3) 経営効率化の推進

事業の効率化等を図るために上下水道料金徴収の一元化を平成24年度に行うとともに、効果的かつ効率的に事務・事業を処理し得る組織とするための組織体制を構築していきます。

6 収支見込み

(1) 収益的収支

計画期間を通じた収入については、配水管の整備推進に伴い、新たな水道加入者の増加から引き続き料金収入の増加傾向が続くことが見込まれます。一方、支出についても、水需要の増加により受水費が増額するなど支出についても増加傾向が見込まれます。

（単位：百万円）

		H23(予算)	H24	H25	H26	H27	
収益的 収支 (税 抜)	収入	水道料金	950	993	1,009	1,018	1,033
		加入者負担金	82	61	65	41	14
		補助金	922	916	907	906	994
		その他	8	7	7	6	6
		計a	1,962	1,977	1,988	1,971	2,047
	支出	人件費	100	88	88	89	89
維持管理費		266	268	271	274	277	
受水費		743	786	803	808	822	
減価償却・除却		549	544	546	525	586	
支払利息		282	268	257	252	249	
その他		22	23	23	23	24	
	計b	1,962	1,977	1,988	1,971	2,047	
収支差引(a-b)		0	0	0	0	0	

(2) 資本的収支

収入については、水源費に係る企業債借入の減額が、支出については、配水管整備や耐用年数を経過した設備の更新から建設改良費が増額することに加え、水源費取得のために借り入れた企業債の元金償還が始まるため償還金が増額することが見込まれます。

（単位：百万円）

		H23(予算)	H24	H25	H26	H27	
資本的 収支 (税 込)	収入	企業債	1,143	1,159	1,444	1,514	805
		出資金	124	153	154	155	156
		負担金	252	448	488	499	510
		計a	1,519	1,760	2,086	2,168	1,471
	支出	建設改良費	1,657	1,830	2,157	2,238	1,541
		企業債償還金	520	625	676	734	801
その他		5	4	5	4	4	
	計b	2,182	2,459	2,838	2,976	2,346	
収支差引(a-b)		△ 663	△ 699	△ 752	△ 808	△ 875	

※収支差引中の不足額（資本的収支不足額）は、損益勘定留保資金等で補てんします。